

1. 課題名

原発性自然気胸に対する胸腔鏡ブラ切除後の再発リスク低下に最も有効な追加手技に関する研究

2. 担当科 申請者

呼吸器外科 玉里 滋幸

3. 研究期間

倫理審査委員会承認日から 2026 年 12 月 31 日

4. 目的

原発性自然気胸術後再発を抑えるための方法として、どのような追加処置が最も有効かについて、十分な科学的根拠がないため確立されていない。有効な治療法を探すため、まずは自然気胸術後再発率を正確に把握する必要がある。本研究は多施設共同で、自然気胸手術例の再発予防法と術後再発に関するデータ収集を行う。

対象：当院の呼吸器外科で手術を受けられる患者さん

5. 利用又は提供する試料・情報、提供方法

試料・情報：年齢、性別、身長、体重、原発性自然気胸治療歴、併存疾患、喫煙歴、両親の気胸既往歴、術前 CT 情報、ポート数、手術時間、出血量、術後入院日数、術後合併症等

提供方法：電子的配信

6. 研究代表者

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学 芳川 豊史

7. 倫理審査委員会

本研究の実施については令和 2 年 8 月 20 日に当院医学系研究等倫理審査委員会（迅速審査）にて承認された。

<当施設の研究責任者（相談窓口）>

所 属： 静岡市立静岡病院 呼吸器外科

研究責任医師： 玉里 滋幸

電話番号： 054-253-3125（代表）

<研究に関する資料の入手や閲覧・問い合わせ>

相談窓口： 静岡市立静岡病院 臨床試験管理センター

e-mail： chicken2@shizuokahospital.jp